

BIG BEN

- p1 林大使の新年挨拶
- p2 インタビュー：新会長に聞く今年の抱負
- p3 領事だより：困った時の相談先 2
- p4-5 短信：日本人社会の動き
- p6 診療所を御利用下さい
- p7 エッセー：イギリス最後の晚餐
- p7 日本大使館休館日
- p8 2015年日本クラブ理事一覧

新年の挨拶



林 景一 大使
(日本クラブ名誉会長)

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

2014年も、日本と英国との絆をより堅固なものとしていく上で、多くの機会に恵まれました。昨年の印象深い出来事をいくつか振り返りますと、5月は安倍総理が当地を訪問されたことが挙げられます。安倍総理とキャメロン首相との首脳会談では、経済や投資、安全保障面の協力、ウクライナや東アジアといった地域情勢、女性の活躍に向けた取組等、多岐にわたる意見交換があり、日英関係の幅広さや奥深さに相応しい会談となりました。また、安倍総理はロンドンのギルドホールにおいて経済政策に関する二度目の講演を行ったほか、ユニバーシティ・カレッジ・ロンド

ン(UCL)での日英研究教育大学協議会等にも出席し、多岐にわたる分野で両国の関係強化を推し進めることとなりました。

また、10月には舩添東京都知事が当地を訪問し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた町づくりを念頭に、ボリス・ジョンソン・ロンドン市長からロンドン2012の経験を聞く等、有意義な訪問となりました。この機会に東京・ロンドンのパートナーシップ強化に向けた協議を行うことについても合意され、今後、両都市間のますますの協力関係の強化が期待されます。

大使館としましては、日本についての発信や交流の機会を通じて、当地における日本の存在感が一層向上するように、これからも貢献していきたいと考えております。日本クラブの皆様には、医療・教育等の様々な面における在留邦人の方々への支援や日英交流について、大きな役割を果たしていただいております。皆様との協力の下で、大使館として在留邦人の方々への支援やサービスの提供に力を注ぎ、更なる日英関係の強化につながるよう、引き続きオールジャパンで取り組んでいきたいと思っております。



謹賀新年

「びっぐべん」編集部一同



◆ 新春インタビュー

日本クラブ石川会長に聞く クラブの健全な運営基盤づくりを継続

日本クラブの2015年度の会長に就任した石川博紳さん（三井物産(株)常務執行役員欧州・中東・アフリカ本部長兼欧州三井物産社長）に新年度にあたっての抱負をうかがいました。（聞き手・新藤政史広報委員長）

——クラブ会長として取り組むべき課題と抱負をお聞かせ下さい。

まず日本クラブの健全な運営基盤を構築したいと考えています。クラブの運営基盤を立て直すためにクラブサロンを昨年夏に移転したように、その努力を続けていきます。日本クラブは日英文化交流活動、日本人学校・補習校、診療所の運営を中心としてきました。クラブサロン移転の次は、診療所と日本人学校・補習校の運営が課題になると思います。

ロンドンの北と南にある診療所は現在の利用者数では、日本人コミュニティへのサービス提供を継続させるのが難しくなっています。利用者数が増えない中で、今の診療レベルを維持するには、根本的な運営の見直しを視野に入れたいといけない状況になっています。

日本人学校・補習校はうまく運営できていますが、日本では中・高一貫教育や帰国子女枠など教育の仕組みやあり方が多様化してきています。その中で、時代に合った学校運営をするために多くの関係者と模索したいと思っています。

ロンドンに「ジャパンハウス」をつくり、文化交流拠点にしようという構想があります。こうした動きを見ても、日本クラブの活動のあり方を考えないといけない時に来ています。日本クラブは長い間、日英文化交流の結節点にいました。ジャパンハウス構想を機に、日本クラブとしてどのように貢献できるかについて皆様と一緒に考えたいと思います。日本語を発信し、日本語のファンを増やしていくという観点からは、補習校の運営方法にも工夫できる余地があるのではないかと思います。

——ロンドンにはどんな印象をお持ちですか。

海外はシンガポールとロサンゼルスで計8年半過ごし、ロンドン今年が2年目です。シンガポールもコスモポリタン都市でしたが、その成り立ちはロンドンの方が歴史的に長い。昔からコスモポリタン都市になろうとして

いた。（我々のような）外国人には生活しやすい都市である半面、物価を含めたコストが高いです。

日本の企業、企業人との接し方もアジア、米国、欧州ではだいぶ異なると感じました。アジアでは日本企業の知名度があるため、自己紹介しなくとも組織の一員として認識してくれます。米国は好奇心の豊かな社会とあって、面白そうな人だといったん思われると、企業のトップがわざわざ会いに来てくれます。これに対し、欧州は確立された社会とあって、自ら存在をアピールした上で社会の中に入り込み、そこで貢献して初めて認められます。ぱっと見では敷居は高そうですが、入ってしまえば親密なグループの一員になれます。だいぶ英国社会に入れたかなと感じています。

文化が豊かなところもロンドンならではの良さです。オペラ、バレエ、オーケストラは家内に連れられて行くようになり、趣味になりました。

新会長プロフィール

石川博紳（いしかわ・ひろのぶ）さん

1954年12月4日生まれの60歳

東京都出身

1979年、国際基督教大学教養学部を卒業し、三井物産に入社。石油部に配属後、シンガポール、ロサンゼルスに勤務、その後エネルギー業務部長、執行役員人事総務部長を経て現職に至る

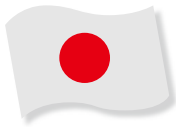
ロンドンでは夫人と2人暮らし。オフはゴルフやオペラ鑑賞、最近ではライダーカップ観戦にスコットランドを訪れ、カーネギー所縁のスキボークラブが印象的だった由。



2014年 日英交流促進委員会活動報告

◆2014年の活動以下の通り

- 年次ゴルフ大会 (6月7日)
- ジャパン祭り (9月27日)
- ビール醸造所見学バスツアー (10月11日)
- クリサンシマムカップ (10月12日)
- ハマースミス公園日本庭園清掃作業 (10月12日)
- 日英陶芸家作品展覧会 (11月22日)
- その他：ジャパン・ソサエティー主催の学校を訪問して日本文化を教えるプロジェクト、及びブリッジ、ゴルフ、囲碁、グリーンコーラスの各同好会への助成



領事便り

在英日本国大使館領事 田邊邦彦



英国内の相談先 (その2)

前回の続きです。今回は、生活をしていて困ったときや、苦情の相談先です。もちろん、日本語で概要だけでも知りたいとおっしゃる方、また、どこに相談して良いかわからない方はご遠慮なく大使館にご相談ください。

●教育

- ・居住地のカウンシル（公立の現地校に入学したい場合）
- ・入学したい学校に直接（私立校に入学したい場合）
- ・Ofsted（学校に対する苦情）

*他に日系の塾や補習校が、現地の公立校、英系私立校、インターナショナルスクールに通う子どもの学習をサポートしています。

●住居問題（大家とのもめ事、デポジット（敷金）問題などについての相談）

- ・ Shelter
- ・ Citizens Advice Bureau

●弁護士への相談・苦情

○弁護士の探し方

- ・ Law Society of England and Wales（英国の弁護士会）
目的に応じた弁護士事務所を検索することができます。

*日本人弁護士が所属する法律事務所のリストが必要な方は、当館までご連絡ください。（日本国法弁護士又はイングランド・ウェールズ法弁護士）

○弁護士への苦情

- ・ Legal Ombudsman（契約した弁護士への苦情受け付け）

●警察への苦情（英国内の警察に対するご不満がある場合など）

- ・ Independent Police Complaints Commission

●ロンドンの公共交通機関に関する苦情

- ・ Transport for London

●消費者からの相談

○商品やサービスなど消費生活全般に関する苦情・問合せなど

- ・ Citizens Advice Consumer helpline
- ・ Trading Standards Institute

●悩み事の相談

○深くお悩みの方や精神的に落ち込んでいる方のための電話相談

- ・ SAMARITANS（日本語での相談は事前に依頼する必要があります）

●レイプ被害の相談

○警察へ連絡

通報を望む場合、緊急連絡999番・非緊急連絡101番があります。また、最寄りの警察署を直接訪れて相談することも有効です。ロンドン警視庁には、性犯罪を専門に取り扱う部署があります。

○警察への連絡を避けたいが支援を受けたい方の相談先

- ・ The Havens（ロンドン警視庁とNHSが支援するレイプ被害者援護団体）

○犯罪被害者支援団体へ連絡

- ・ Victim Support

●DV被害の相談

- ・ Refuge
- ・ Women's Aid

●子の親権・子の奪取についての相談

- ・ Reunite International

●相談先がわからないとき

○お金の問題（税金、借金など）、家庭問題（健康、住宅、教育など）、日常のできごと（消費者問題、通信問題など）、権利問題（差別、市民権、ビザなど）など

- ・ Citizens Advice Bureau

●その他

- ・ 在英日本国大使館
一緒に解決策を考えたり、相談先を搜したりします。

ご遠慮なくご相談ください。

TEL: 020-7465-6565

<http://www.uk.emb-japan.go.jp/jp/ryoji>

短 信

COMMUNITY PLAZA



日本の地方都市が観光誘致

昨年11月2日から6日まで、ロンドンのドックランドにあるエクセル国際展示会場で開催された世界旅行市場博覧会(WTM)に日本の地方都市が観光誘致のため参加した。今回参加したのは九州や沖縄を始め、大阪や神戸、豊岡といった地方都市で、東京、京都、箱根といった外国人に人気の三大観光地だけでなく、日本には他にも素晴らしいところがあることを売り込んだ。日本はオリンピックを目標に外国人観光客2000万人誘致を目指しているが、三大観光地はすでに宿泊施設も限界に達しており、目標を達成するためにも、地方都市への観光客誘致が必要(日本政府観光局)としている。(写真①)

Hyper Japan Christmas

日本のポップカルチャーから寿司まで現代日本文化を一堂に集めた「ハイパー・ジャパン・クリスマスマーケット2014」(クロスメディア社主催)が11月14日(金)から16日(日)まで3日間、ロンドンのオリンピック展示会場で開催され、5万人近い入場者があった。イギリスはクリスマス商戦時期ということもあって、今回は日本の工芸品からキャラクター雑貨、衣類、装飾品、化粧品、食料品、日本酒までギフト商品をたくさん揃えたのが特徴だった。日本行きのツアーを専門としている旅行代理店の代表は「日本への興味は非常に高く、取り揃えたパンフレットがすぐ無くなった」また、パリ

から来て出展している着物を加工して現代的な衣類や雑貨を製造している会社の社長は「ロンドンもパリに劣らず日本の現代文化に興味を持っている人が多いのに驚いている」と話していた。(写真②)

今年の酒ソムリエ・チャンピオン

今年2回目になる日本酒ソムリエ・コンテスト(酒ソムリエ協会、フード&ワインサービス・アカデミー主催)が11月24日(月)ロンドンのウエストベリー・ホテルで行われた。コンテストには世界中から日本酒のソムリエが応募し、その中からセミ・ファイナリスト6人が選ばれ、ロンドンの会場で酒の知識やエッセー等の試験を受け、その中からファイナリスト3人が

日英陶芸作家作品展

現在イギリスで活躍する日本人とイギリス人陶芸家4人による「日英陶芸作家作品展」が11月22日(土)、日本クラブ大会議室で開催された。この展示会は日英交流促進委員会の企画によるもので、日英各2人の陶芸家が参加した。

日本人の陶芸家2人はいずれもイギリスの芸術大学で陶芸を始め、逆にイギリス人の陶芸家2人はいずれも日本で陶芸の薫陶を受けた作家で、

真の意味での日英交流展覧会となった。今回展示されたのは、食器や花器といった日常使えるものを中心に、作品は展示即売された。

訪れた人は「工場で作られたもの



だけでなく、それぞれ個性のある作品なので、家庭で使っても楽しいし、クリスマス・プレゼントにも最適」と感想を述べていた。

4人の陶芸家は以下の通り:

◆平井明子さん:

www.akihohiraiceramics.com

◆山下瑞代さん:

www.me.mizuyo.com

◆ペニー・シンプソンさん:

www.pennysimpsonceramics.co.uk

◆ジル・ファンショー加藤さん:

www.jillfanshawekato.com

短 信

COMMUNITY PLAZA

選ばれた。ファイナリストはブラインド・テストや食事とのペアリングのテストを受け、最終的にドバイの「ズマ」レストランでソムリエを務めるドイツ人のノエル・プッシュさん(36) (写真③)が今年の酒ソムリエ大賞に輝いた。ノエルさんは2009年に酒ソムリエの勉強を始め、それ以来「酒だけでなく、日本文化全体に興味を持つようになりました。酒は日本文化のエッセンスだと思います」と語っている。



小林賢太郎UK初公演

コメディアン、演出家、脚本家、漫画家、パフォーマンス・アーティストといった多数の肩書を持つ小林賢太郎が英国初ライブ「ポツネン氏の奇妙で平凡な日々」公演を行う。小林は片桐仁との



コンビで「ラーメンズ」で爆発的人気を博した。「ポツネン氏」は小林のソロパフォーマンスで、奇妙で美しい音楽と漫画の世界に住むポツネン氏の孤独な生活を豊かな舞台装置とマイムで面白おかしく演じる。(写真④)

● Mr. Potsunen's Peculiar Slice of Life

2月3日(火)・4日(水) 7:30pm
Leicester Square Theatre

6 Leicester Place,
London WC2H 7BX

£15, £12 (concession)

Box Office: 08448-733433

www.leicestersquaretheatre.com



Japan 400の最終行事

1613年に最初のイギリス船「クロー



ブ号」が長崎県の平戸に到着、日本との貿易が始まった。この交易400年を記念して昨年1年間英国各地で記念行事が開催された。クローブ号がロンドンに戻ったのは1614年12月で、それを記念して、ケントとロンドンで記念式典が開催された。11月30日(日)には東インド会社の創設者でクローブ号を送りだしたトマス・スマイス卿が埋葬されているケントのサトン・アット・ホーンの教会で、12月2日(火)にはロンドンのウエストミンスター・アビーでイーヴンソング(夕べの祈り)に続いてレディー・チャペルで特別記念式典が行われた。これで一連のJapan400行事は最後となる。(写真⑤はケントの教会のスマイス卿の墓碑前に並んだ式典関係者)



日本クラブの歴史を知る



12月1日(月)、ロンドンのスエーデンボルグ・ハウスでジャパン・ソサエティーの「Biographical Portrait 第9巻」という本のローンチングがあった。この本の中で日本クラブ加藤節雄理事が「日本クラブの歴史 1881-2014」(英文)という記事を書いている。

ロンドンの日本クラブの歴史をたどると1881年(明治14年)まで遡ることができる。当時、日本から派遣さ

れていた日本人は数十人で、定期的にレストランに集まり、情報交換やイギリスの政治・経済談義をしたり、講師を招待して専門的な話を聴いたりしていた。日本人はこの会を「日本人会」と呼んでいた。

初のクラブハウスができたのは1904年で、その後1919年にはキャベンディッシュ広場の4階建てのビルを購入、本格的なジェントルマン・クラブとしての日本クラブハウスを設立

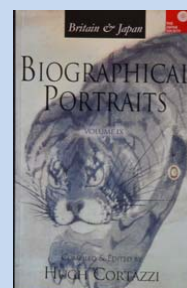
するまでになった。

戦後1960年になり、日本クラブは復活、いろいろな変遷を経て現在のサザックへと至った。

*この本はクラブのサイトに掲載されていますが、コピーを欲しい方はジャパン・ソサエティーまで。(部数に限り有り)

www.japansociety.org.uk

TEL: 020-3075-1996



会員の健康管理に貢献 日本クラブ診療所！

1965年創設の日本クラブ診療所は、その抜群の実績と豊かな経験で、英国の日本人社会の健康管理に貢献しています。北・南診療所とも最新設備を整えた私立総合病院内で診療しており、最先端の医療サービスを提供しています。診療所には東京慈恵会医大から派遣された3人の医師が常駐しており、英国にいながら日本語で安心して日本と同じレベルの診療を受けることができます。

北・南診療所とも旅行者を含む日本人の外来診療・健康診断を受け付けていますが、日本クラブ会員には会員料金が適用されます。

◆一般外来(予約制)

内科専門医、小児科専門医による診療の他、内視鏡検査、小児科ワクチン、旅行ワクチン、インフルエンザ・ワクチンの接種も行っています。その他の専門医による治療が必要な場合には病院内にて各種専門医を紹介しています。

◆健康診断(予約制)

日本クラブ診療所では成人、小児向け健康診断に力を入れており、受診者のニーズに合わせた健康診断パッケージを用意しています。予約から結果入手までの流れも簡単で分かりやすく、また、予約や問い合わせには健康診断専用電話をご利用になれます(右図参照)。

◆婦人科検診(予約制)

毎週火・木曜日に北診療所で女性の専門医による各種婦人科検診を行っています。

◆精神科診療(予約制)

日本人精神科医による診療が受けられます。

◆産婦人科

信頼のおける専門医、病院を紹介しています。

◆各種健康保険

各種海外旅行傷害保険、海外派遣員医療保険等でキャッシュレス・サービスをご利用になれます。その他、日本の社会保険、国民健康保険、他の各種保険還付金請求書の請求書類の作成もいたします。

※詳しくは診療所ホームページをご参照ください。

www.nipponclub.co.uk/clinic

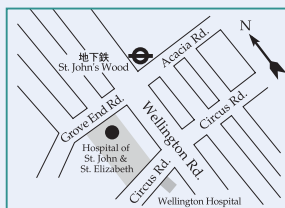
より便利になった 日本クラブ診療所の健康診断

- 1) **予 約 申 込** パッケージの選択、オプション検査の追加
申込用紙は HP からダウンロードできます。
Eメール、FAXでも予約可能
- 2) **予約確認の通知** 確認書、問診表、便検査容器等の送付
- 3) **健 康 診 断** 問診表、検体持参
- 4) **検査結果の郵送** 10日～2週間後

健康診断専用電話：020 - 8971 - 8007

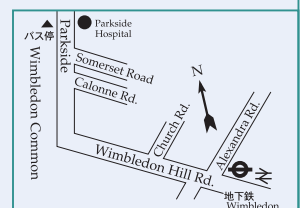
●北診療所 (Nippon Club North Medical Clinic)

The Brampton House (1F)
The Hospital of St. John and St. Elizabeth
60 Grove Road, London NW8 9NH
TEL : 020-7266-1121 FAX : 020-7266-1107
地下鉄：St. Johns Wood (Jubilee Line) 3分
診療時間：(月～金) 9:00～13:00、14:00～17:00
(土) 9:00～13:00、(日・祝・年末年始休診)



●南診療所 (Nippon Club South Medical Clinic)

The Lodge, Parkside Hospital
53 Parkside, Wimbledon, London SW19 5NX
TEL : 020-8971-8008 FAX : 020-8971-8009
Wimbledon 駅より 93 番バスで 10 分 (Parkside Hospital 下車)
診療時間：(月・火・木・金) 9:00～13:00、14:00～17:00
(週によって時間が異なります) (土) 9:00～13:00
(水・日・祝・年末年始休診)





イギリスの最後の晚餐

このクリスマスは、イギリス流にターキーかチキンのローストでお祝いした方もあるでしょう。このロースト料理はクリスマスの朝に目を覚まし、ゆっくとオープンに仕掛ければ、後はお任せという、料理人が楽をできる料理なので、毎年作ってもそう苦になりません。一旦オープンに入れたら、後は食前酒を片手にクリスマス気分でいられます。

以前はほとんどの家でサンデー・ローストを焼き、家族が集まって団らんの時を持ったものですが、最近はパブなどに出かけて食事をする人が多くなりました。しかしクリスマスの際は、今でも家庭で焼くほうが多いのではないのでしょうか。チューダー朝のころは高貴な人々の鳥のローストは白鳥でしたし、ピクトリア朝にはガチョウが好まれました。しかし現在はよりあっさりとしたターキーやチキンが人気です。普段のターキーやチキンのローストは肉をそのまま焼きますが、クリスマスの際はスタッフィングをして、少し趣向を変えます。付け合わせも、定番のポテトやニンジンほかに、パースニップや芽キャベツなどの冬野菜が付きます。ポテトやパースニップもオープンで肉と一緒に焼きますので、手間いらずです。

ロンドンの「メトロ」には、面白いアンケート結果が載っている小さなコーナーがあります。ある日の質問は、「最後の晚餐には何を食べたいか」というものでした。その結果、第1位はロースト・ディナー（24%）、第2位はステーキ（22%）、第3位はフィッシュ&チップス（13%）でした。ローストは、やはり食べがいもあり、昔の懐かしい記憶と結びついているのでしょうか。

家庭でローストをいただく時に、注意することがあります。それは、「肉を切り分けるのは男性の仕事」だということです。手羽や足を関節からうまく切り分け、胸肉をきれいにスライスしていき、食卓を囲む人の好みを聞きながら、大体均等に行き渡るように気を配ります。

鳥のローストの場合、ただ肉を切り分ければ終わりではありません。最後に残った骨の中でwishboneという叉骨（さこつ）を二人で引っ張り合い、折れた時に長い骨を引いた人の願いが叶うというイベントがあるので、この細い骨を折らないように肉を切り分ける必要があるのです。

ボクシング・デーには、今度はローストビーフを焼き、それから数日はこの2日間のローストの残りをサンドイッチにしたり、カレーにしたり、手を変え、品を変えて食べ続け、新年を迎えるのです。もうローストは1年分食べたような気になるのですが、それでも最後の晚餐は、やはりローストなんですね。

平成27年（2015年）の在英国日本国大使館休館日

- 1月 1日（木）元旦
- 1月 2日（金）年始休暇
- 1月 3日（土）年始休暇
- 4月 3日（金）Good Friday
- 4月 6日（月）Easter Monday
- 5月 4日（月）Early May Bank Holiday
- 5月25日（月）Spring Bank Holiday
- 8月31日（月）Summer Bank Holiday
- 12月25日（金）Christmas Day
- 12月26日（月）Boxing Day
- 12月29日（火）年末休暇
- 12月30日（水）年末休暇
- 12月31日（木）年末休暇

当館は1月5日（月）から開館いたします。英国の休日を休館日としており、年末年始以外の日本の祝祭日は開館しています。

事件、事故等の発生により、真に緊急を要する場合には、次の電話番号にご連絡ください。

TEL : 020-8762-8266

日本国大使館領事事務取扱時間
(休館日を除く)
月～金：午前9時30分～午後4時30分
The Embassy of Japan
101-104 Piccadilly
London W1J 7JT
<http://www.uk.emb-japan.go.jp/jp/ryoji>

日本クラブ理事の交代

会長（2014年10月）：中野昌治氏から宮地正人氏へ（ともに三菱東京UFJ銀行）

衆議院選挙で在外投票

第47回衆議院議員選挙は去る12月14日（日）に投票が行われたが、ロンドンの日本大使館では12月3日（水）より7日（日）まで在外投票が行われた。

メルマガ「在英国大使館だより」創刊

在英日本大使館は昨年11月より大使館からのお知らせ、安全情報等を掲載した日本語メールマガジン「在英国大使館だより」を創刊した。年4回発行予定で、メール登録した人に送られる。

2015年度日本クラブ理事一覧（敬称略）

会 長	石川博紳 三井物産
副 会 長	中井拓志 日本郵船
副 会 長	宮地正人 三菱東京 UFJ 銀行
副 会 長	林 春樹 三菱商事
副 会 長	岩下直也 丸紅
副会長（兼書記長）	吉村剛史 双日
副会長（兼副書記長）	橋本紀晃 東芝
副 会 長	柏樹康生 野村證券
決算・予算（正）	在原淳一 大和証券
決算・予算（副）	永田知巳 住友生命
決算・予算（副）	田中祐司 みずほ銀行
診療所運営（正）	西村昌彦 双日
診療所運営（副）	武村良平 丸紅
診療所運営（副）	神戸一晴 三井住友銀行
日本人学校運営（正）	飯塚直樹 NEC
日本人学校運営（副）	柏樹康生 野村證券
スタッフ（正）	本村恵三 住友商事
スタッフ（副）	尾島 聡 伊藤忠
クラブ施設（正）	内田 顕 鹿島建設
クラブ施設（副）	大塚祐介 東京海上日動火災保険
会員サービス（正）	清水克己 JTB
会員サービス（副）	三浦誠司 全日空
日英交流促進（正）	常深伸太 日本航空
日英交流促進（副）	榎澤良和 JX 日鉱日石エネルギー
日英交流促進（副）	島田進司 三菱商事
広 報（正）	松木昭博 NHK
無 任 所	川村博司 日本大使館
無 任 所	松下 顕 日本銀行
無 任 所	有馬 純 JETRO
無 任 所	加藤節雄 KATO MEDIA

日本クラブ年次総会（2014・12・11）

ユーロポイントへの移転後初めてとなる2014年度日本クラブ総会は12月11日（木）午後4時よりクラブ大会議室で開催された。名誉会長の林景一日本大使から「長い伝統を誇る日本クラブの医療、教育、日英交流の3本柱を、これからも守って欲しい」という挨拶があり、続いて各委員会から活動報告がなされ、14年度決算、15年度予算案に続いて、15年度の活動方針が説明され、いずれも承認された。最後に宮地正人会長の離任挨拶と石井博紳新会長の挨拶があり、総会は滞りなく終了した。

2014年度決算・2015年度予算 （総会承認）

	2014年度 決算	2015年度 予算
〈経常収支〉	£	£
収 入	2,739,854	2,687,104
支 出	2,820,208	2,672,704
収 支	(80,354)	14,400
〈経常外収支〉		
資産売却・受取利息等	(181)	0
税引前損益	(80,535)	14,400
納税引当金	(26,599)	(26,696)
税引後損益	(107,134)	(12,296)

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆月例会：開催中
- ◆会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ：☎ 07810-545023（西川）
charles.nishikawa@btinternet.com
2014年度入会受付中（申し込みはHPから）

日本クラブ囲碁会

- ◆例 会：毎週土曜日（12:00～23:00）
- ◆会 場：Melton Mowbray Pub
地下鉄 Chancery Lane 2 分
- ◆問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）
tanaka@gokichi.org.uk

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例 会：毎週火曜日（11:00～15:00）
- ◆会 場：日本クラブサロン
- ◆問い合わせ：reikoe@btinternet.com（榎枝）
見学者歓迎

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ：sachiko@teranaka.net（寺中）

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英語検定や漢字検定の実施
- 放課後の楽しい部活動（5年生以上）
- 整った学習環境
- 英会話や英語活動
- 現地校との交流
- 通学バス利用可



入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 校舎はアクトン、フィンチリー、クロイドンの3校舎
- 小・中・学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に7クラス設置）
- 授業回数年間約40回



内科
小児科
一般診療

●日本クラブ 東京慈恵会医科大学からの派遣医師が常勤。在英日本企業300社以上がサポート。

NIPPON CLUB メディカルクリニック

当診療所は、ロンドンでも最新設備を誇るプライベート病院の Hospital of St. John and St. Elizabeth（北診療所）と Parkside Hospital（南診療所）内にあり、緊密な提携関係のもと同病院施設の利用・入院手続き等ができる上、必要があれば同病院をはじめ英国の専門医をご紹介します。

- 東京慈恵会医科大学海外派遣機関
- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断随時実施
- 婦人科検診随時実施

旅行保険で
キャッシュレス

www.nipponclub.co.uk/clinic

北診療所 020-7266-1121

南診療所 020-8971-8008